

事務事業名 筑紫野市立小学校体育施設一般開放事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：560

施策：	04	スポーツの振興	財務コード	01090702-04-613
基本事業：	01	スポーツ施設の充実	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	スポーツ施設満足度		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	スポーツ施設担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成02年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民（児童、生徒、一般市民等）			市内小学校 11校の体育館及び運動場を毎週土曜日 9時から 12時まで市民の利用に開放する。 【中止日】夏季・冬季及び学年末休業日、祝日 開放時における利用者の危険防止や運営に当たる者として、管理指導員を筑紫野市シルバー人材センターと委託契約を行い、各小学校に1名ずつ配置している。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			[業務内容] ・就業日における体育館とグラウンドの管理 ・体育館とグラウンド利用者間の調整 ・マナー指導 ・利用状況の報告						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
体育館・運動場開放時の利用者数		人	10,508	10,724	12,000	12,000			12,000
5. コスト									
事業費		計	千円	1,389	1,461	1,633	1,939		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	0.1	0.2	0.2				
正職員人件費		千円	782	1,605	1,676				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	2,171	3,066	3,309	1,939			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		状況 昨年度より利用者数は増加したが、大幅な増加には至っていない。 原因 本事業が広く市民に周知できていることが考えられる。 引き続き、地域でのイベントや親子のふれあいの場として利用していただけるように事業の周知に努める必要がある。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	・子どもの利用が多く、遊び場や憩いの場として有効と考えます。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
子どもたちの居場所として継続して実施する。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
小学校週5日制の開始から、子どもたちの遊び場や憩いの場として、平成2年から市内小学校11校の体育館及び運動場を、毎週土曜日9時から12時まで開放。									